町畑小

学びを生かす子どもの育成

～既習を生かしたステップアップをめざす授業づくり～

（３年計画の４年次）

校長　　工　藤　　正　道

１　研究主題について

本校では、教育目標に「心豊かにたくましく」、努力目標に「すすんで学ぶ」を掲げ、教育活動を展開している。「すすんで学ぶ」を具現化するために、平成３０年度より学びを生かして主体的に課題を解決しようとする児童の育成を目指して授業研究を進めてきた。

１年次は、導入時にフラッシュ型教材学習やミニテストを実施したり、前時の振り返りノートを活用したりして、本時に必要な既習事項を確認しながら、学習課題の共有化や基礎学力の向上を図った。また、振り返り活動の場を設定し、取り組みを続けたことで自己の向上を自覚できる児童も見られるようになった。

一方で、４５分で終える授業展開が課題として挙げられたため、２年次は発問や学習活動の精選を図り、より効果的な導入場面と振り返り活動の方法を探った。問題提示に工夫を凝らして課題を把握させていく方法、発問や教材を工夫して前時との違いを捉えさせる方法、本時に必要な既習事項を素早く確認できる学習環境の工夫は、本時において課題がより焦点化され、児童が既習を生かしながら主体的に課題解決に向かうための手立てとなることが明らかになった。また、振り返りをする場面で書き出しや書き方のパターンを示す方法は、より多くの児童が自己の向上を捉えて振り返り、次時に生かしたいことを手早くまとめることができる手立てとして有効であることも明らかになった。しかし、書くことがパターン化する児童が見られるようになり、３年次はより実感を伴って振り返りができる方法を探った。児童同士の関わりや問題提示・教師の発問等に工夫を凝らした授業研究を進めたが、新型コロナウィルス感染症拡大に伴い児童同士の関わり合いに困難が生じ、校内研究の在り方や、意見を交わして協議を行い成果と課題を共有しながら日々の実践に生かすことが難しかった。そこで、３年次計画だったが今年度も昨年度までの研究を継続することとした。

２　研究のねらい

既習を生かした向上（ステップアップ）をめざす授業づくりを手立てに、学びを生かす子どもの育成について、実践を通して明らかにする。

３　研究仮説

課題設定を工夫し、自己の向上や変容を実感できる授業展開をすることによって、学びを生かそうとする子どもを育てることができる。

４　研究内容

⑴ 既習を生かしながら主体的に解決に向かうための導入から課題設定までの教師のはたらきかけ

⑵ 視点を明確にした振り返り活動

５　研究の経過

⑴　研究仮説に基づく研究授業等

月	日	学年・授業提案者（報告者）・題材名
７	７	第１回授授業研究（２学年）　算数　「図をつかって考えよう（１）」 授業者　和泉　範子
９	６	第２回授業研究（５学年）　算数　「三角形の面積」 授業者　大坂　幸、吉田　吉人
１１	２４	小・中ジョイントスクール推進事業公開授業
１	７	授業研究実践報告 報告者　吉田　吉人、堀切　まり子、三橋　亜未、佐藤　真美、磯谷　琢磨、 長瀬　さおり、髙谷　園江、酒寄　あゆみ、奥山　睦子、

⑵　一般研修

月	日	内容・講師
５	２６	一人一台タブレット端末の活用について　講師　本校教諭　乙山　竜太郎
６	２	エピペンの使い方　講師　本校教諭　梅内　洋子
６	１１	問題解決的な学習を取り入れた授業づくり 講師　八戸市教育委員会　教育指導課　主任指導主事　福田　秀貴氏
７	１６	救命救急講習　講師　八戸市東消防署員

６　研究の成果

⑴　授業の導入で既習との関連を想起できるようにはたらきかけ、ズレを生じさせる発問や教材提示に工夫をしたことで、児童は見通しをもち、既習との関連を意識しながら、課題解決に主体的に向かうことができた。

⑵　既習とのつながりを意識させる授業展開を続けてきたことで、既習を生かして課題解決しようとする児童が増えた。

⑶　学習の終末には振り返りをする習慣が身に付き、視点やキーワードを与えて振り返りをさせると、学習でわかったことやできたこと、友達との関わりから気づいたこと、生活や学習で生かしたいことなどを構成して書くことのできる児童が増えた。

７　研究の課題

⑴　見通しをもたせるはたらきかけが教師主導で時間がかかる時がある。児童の見方や考え方を生かしながら学びを深めていく働きかけについて今後も研究が必要である。

⑵　校内において学習の終末の振り返りでは「①課題との関わり②仲間との関わり③自分との関わり」を視点に取り組んできた。３つの視点で書くことのできる児童は学年が上がるほど多くなるが、困難を示す児童もいる。話型や書き方を示しながら指導したり、他児童の振り返りを紹介したり、視点に軽重をつけて行ったりするなどして、主体的に振り返ることのできる子の育成に今後も努めたい。

（記入者　髙谷　園江）